

Social Business Project

主催 未来の大人応援プロジェクト実行委員会

SBP交流フェアの詳しい情報はホームページをご覧ください。

<https://mirai-otona.jp> 「未来の大人」で検索

高校生の“伸びしろ”は、
そのまま日本の“伸びしろ”だ！

第5回 全国高校生 SBP 交流フェア

Social
Business
Project

～学生の学生による学生のための祭典～

HAPPY

ABC

交流フェア
DAY
1

ポスターセッション
2020 8月1日(土)・2日(日)

交流フェア
DAY
2

オーラルセッション&オンライン交流会
2020 8月23日(日)

主催者 あいさつ



高校生の“伸びしろ”は、そのまま日本の“伸びしろ”だ！

「第5回 全国高校生SBP交流フェア」開催に当たり、主催者を代表して挨拶申し上げます。

本フェアは、全国でSBP活動を行う高校生を中心とした団体が、取り組みを通して交流・研鑽を図ることを目的とし、2013年より毎年1回実施してまいりました。

開催当初は、社会的な必要性、継続性、運営する財源の確保などいくつかの課題があり、開催自体その意義を問う必要がありました。そこで最初の3年間は、“高校生レストランのまち”として有名な三重県多気町を会場に「全国高校生“S”の交流フェア」と銘打ち、本フェアの前身をスタートさせました。

その結果、想定を超える多くの方々からの支持を受け、2016年から「第1回全国高校生SBP交流フェア」として舞台を三重県伊勢市に移し、より多くの地域で“未来の大人たち”を応援する仕組みを作ろうと新たなスタートを切りました。

そして嬉しいことに、文部科学省をはじめとする多くの行政や団体のご後援に加え、企業の皆さまの多大なご協力により、第5回を開催する運びとなりました。

今回は、新型コロナウイルスの影響でオンラインでの開催となりますが、全国から多くの高校生たちが参加します。

また本フェアは、企画・進行・運営を三重県立相可高校生産経済科&食物調理科・南伊勢高校SBP・松阪商業SBPが担当しています。そしてその高校生たちを、皇學館大学生がさらに裏方で支えるという“生徒や学生主体のフェア”です。

～高校生の伸びしろは、そのまま日本の伸びしろだ！～ という言葉を胸に

私たちは、地域を守り育てる“未来の大人である若者たち”を全員で、全力で、温かく育んでいきたいと考えています。

最後に、このフェアの開催に当たりご協力、ご尽力を賜りました多くの方々に感謝の意をささげ、今後とも“未来の大人たち”を応援し続けていくことを宣言いたします。

未来の大人応援プロジェクト実行委員会 委員長 岸川政之

SBPとは

SBPは「Social Business Project（ソーシャルビジネスプロジェクト）」の略で、地域の課題をビジネスの手法を用いて解決していこうという取り組みです。具体的には高校生が地域資源（ひと、モノ、自然、歴史、名所旧跡、産業等）と交流し、見直し、活用して“まちづくり”や“ビジネス”を提案していく、そしてその取組を地域で応援し支えていこうというものです。

SBPは、三重県多気町にある相可高等学校食物調理科が運営する高校生レストラン「まごの店」などを先進事例に、2013年4月に三重県立南伊勢高等学校南勢校舎で最初のSBPが立ち上がりました。今、この地域に根ざした取り組みが全国に広がっています。

主 催

一般社団法人未来の大人応援プロジェクト「未来の大人応援プロジェクト実行委員会」

委 員 長	岸川 政之	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 代表理事 皇學館大学現代日本社会学部 教授 百五銀行 公務部 シニアアドバイザー
委 員	中野 拓治	琉球大学農学部 客員教授
委 員	新田 均	皇學館大学現代日本社会学部 学部長
委 員	吉川 秀明	三重県立相可高等学校 校長
委 員	井ノ口 誠充	三重県立南伊勢高等学校 校長
委 員	川瀬 幸史	三重県立松阪商業高等学校 校長
委 員	井上 珠美	三重県教育委員会高校教育課 課長
委 員	山岡 茂治	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 副代表

後 援

文部科学省、内閣府（地方創生推進事務局）、総務省、農林水産省、厚生労働省、国土交通省、観光庁、三重県、三重県教育委員会、伊勢市、多気町、南伊勢町、伊勢商工会議所、皇學館大学、伊勢商会ロータリークラブ、南伊勢町商工会

協 力

株式会社赤福、アドビシステムズ株式会社、NT GROUP、公益財団法人修養団、株式会社セブン銀行、国立大学法人東京学芸大学、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、華為技術日本株式会社、富士ゼロックス三重株式会社、株式会社プラトンホテル、株式会社ベネッセコーポレーション、マルシェ株式会社、株式会社レオパレス 21、株式会社 LOCK

記録・演出

北出 正之（MK フィルム工房）

企画・運営 スタッフ

○一般社団法人未来の大人応援プロジェクト

岸川 政之、北川 清生、村林 新吾、江角 悠太、太田 憲明、松浦 茂之、樫木 隆彦、高橋 貴博、吉田 拓末、阪井 宣行、向井 英規、南 直好、早川 明宏、岩脇 幸哉、山口 隼人、中村 武弘、山岡 茂治、中沢 仁、岸川 晃大、岩城 裕子

○相可高等学校生産経済科

加藤 早織、箇井 織枝、花井 琴音、山本 鈴花

○南伊勢高等学校 南伊勢高校 SBP

上村 駿介、三好 ともる、田中 和真、辻 愛穂、中川 恋碧、中村 旭陽

○松阪商業高等学校 松阪商業 SBP

小島 佑太、山崎 颯斗、荒井 菜々子、小椋 瑛花、三宅 瑠美奈

○皇學館大学

下田 康平、伊藤 友一、澁谷 耕志、野沢 慶二郎、的場 弘展、尾崎 友則、新川床 魁人、辻 優太郎、名古屋 圭史、宮本 幸佳、渥美 雄将、今西 光、加藤 総心、末松 利規、竹内 直巳、竹中 仁汰、田中 翔英、山口 豊統、川合 幹久、林 佳蔵

○皇學館大学 大学生 SBP 研究部会

福岡 優希、中桐 優太、加藤 総心、前川 拳太郎、大西 海輝、森岡 愛翔、境 真捺、磯 伶奈、増井 香苗、尾崎 友則、宮本 幸佳、林 一孝、藤岡 希実、井上 裕心、岩田 一希、山本 真守

これまでのSBP協賛企業様一覧（50音順です。）

株式会社赤福、株式会社アクアイグニス、アサヒビール株式会社、株式会社アイブレーン、アドビ システムズ 株式会社、株式会社アンシャンテ、イオンリテール株式会社東海長野カンパニー、株式会社いち、有限会社壹貳参、伊藤忠製糖株式会社、特定非営利活動法人植える美 ing（ウエルビーイング）、株式会社魚国総本社三重支社、株式会社うすけ、エイチ・エス・アシスト株式会社、株式会社エオネックス、NT GROUP、株式会社 NTT ドコモ、株式会社 O.R. コーポレーション、相可高校 生産経済科、株式会社相可フードネット（せんばいの店）、株式会社近江兄弟社、株式会社岡井ファーム、社会福祉法人 笠木御所桜会、河武醸造株式会社、株式会社川原製茶、株式会社ぎゅーとら、ギョルメ舎フーズ株式会社、グーグル合同会社、九重味淋株式会社、クラギ株式会社、グリコハム株式会社、株式会社ゲイト、コケコッコ共和国、公益財団法人修養団、松和自動車学校、株式会社松和産業、有限会社すかや呉服店、瀬古食品有限会社、株式会社セブン銀行、株式会社ダイム、多気郡農業協同組合、多気町観光協会、多気町商工会、株式会社チェンジ、辻製油株式会社、株式会社デンソープレステック、国立大学法人東京学芸大学、株式会社トモ、株式会社豊田自動織機、日経三勢会、人源輝業塾、万協製薬株式会社、番頭舎、株式会社百五銀行、株式会社百五総合研究所、華為技術日本株式会社（ファーウェイ・ジャパン）、富士ゼロックス三重株式会社、株式会社プラトンホテル、株式会社ベネッセコーポレーション、株式会社マスヤ、株式会社マスヤグループ本社、マルシェ株式会社、三菱商事株式会社、みらいこ株式会社、株式会社レオパレス 21、株式会社 LOCK、松阪山桜ロータリークラブ、有限会社丸伸西口商店、三重信用金庫相可支店、株式会社ミエライズ、有限会社山春商店、ユナイト三重株式会社、ユヌス・よしもとソーシャルアクション株式会社

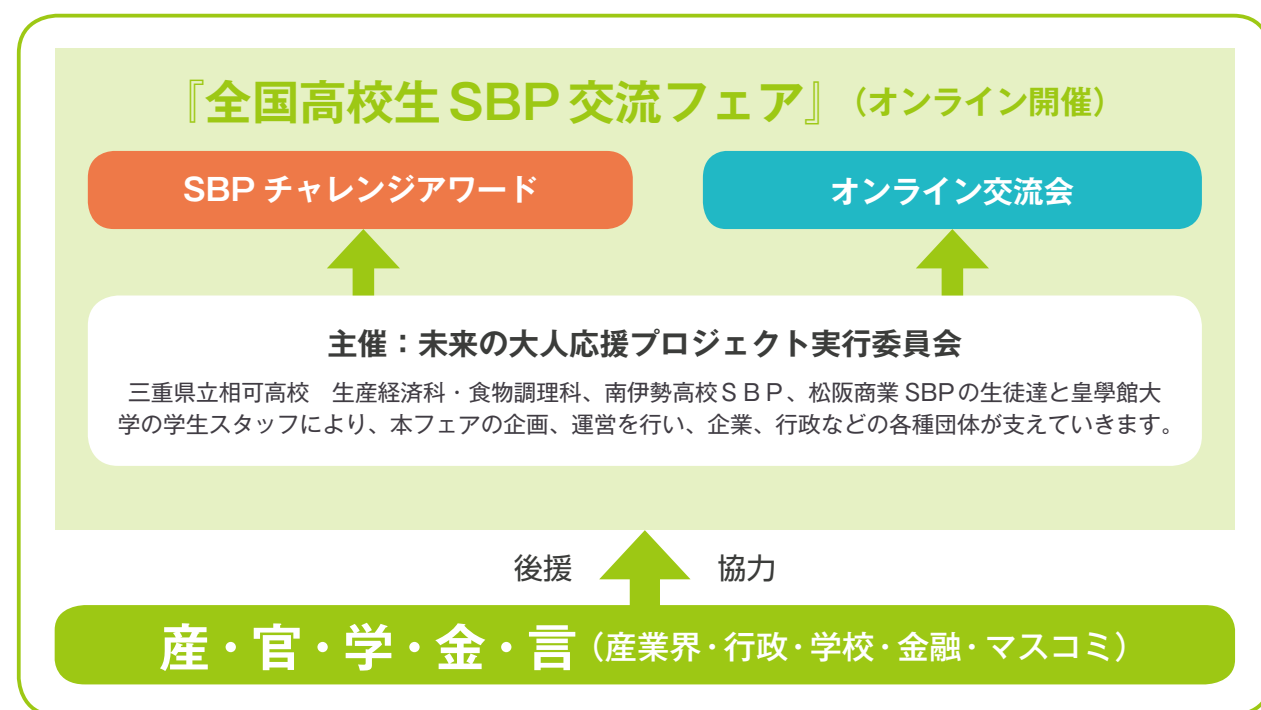
交流フェア
DAY 1
ポスターセッション
2020 8月1日(土)・2日(日)
交流フェア
DAY 2
オールセッション&オンライン交流会
2020 8月23日(日)

第5回 全国高校生SBP交流フェア ～学生の学生による学生のための祭典～

全国の高校生が地域の課題を解決するためにビジネスの手法等を学びながら“取り組んだことを発表”し、“開発した商品を紹介・販売”をしながら交流し、互いに評価しながら向上していくことを目的に行う交流事業です。

当行事に参加した高校生らが更に郷土愛を育み、更に地域を盛り上げる活動を展開するきっかけになるとともに、SBPに取り組みたいと考えている方々に希望をもってもらえる祭典・交流フェアになるよう企画しています。

※SBPの“S”には、英語で「Social」「School」「Student」「Smile」「Sun」「Super」「Soul」「Sustainable」「Seed」「Sweets」「Special」「Surprise」など、未来に続く素晴らしい言葉があります。



SBP チャレンジアワード

色々な取り組みを進める高校生同士が集まり、交流を深めて視野を広げます。地域における貢献度など、互いを評価して進化していくことを目的にしており、商品や取組の完成度等を評価します。

成績評価について

事前の書類審査を通過した24団体にてポスターセッション（DAY1）を行い、その中から、オールセッション（DAY2）に参加する6団体選ばれます。

ポスターセッションについては、Web会議システムを使って行います。全参加団体の取組に対し、『極』（90点以上）、『輝』（75点以上、90点未満）、『雅』（50点以上、75点未満）の評価を行います。

オールセッションについては、Web会議システムを使って行います。ポスターセッション上位6団体で行い、その中で最も点数の高かった団体に文部科学大臣賞、次点に三重県知事賞を授与します。

『文部科学大臣賞』

『三重県知事賞』

『特別賞』

SBPチャレンジアワードに参加したすべての団体の中から、企業等の基準・観点で選ばれた団体に以降の各賞を授与します。賞の選定は、協力いただいた各企業等の基準・観点によるものとし、一つの団体が重複して賞を受ける場合があります。

また、特別賞の他、審査員全体での『審査員特別賞』『協賛企業特別賞』を設ける場合もあります。

審査委員

No	氏名	所 属 等	特 別 賞
1	荒 木 康 行	株式会社百五総合研究所 代表取締役社長	百五総研賞
2	角田 陽一郎	バラエティプロデューサー（元TBS番組プロデューサー）	角田陽一郎賞
3	小 村 俊 平	ベネッセ教育総合研究所 主席研究員／岡山大学 学長特別補佐	ベネッセ賞
4	武 井 史 織	アドビ Creative Cloud コミュニティマネージャー	アドビ賞
5	多 田 祐 美	三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループリーダー	
6	田 中 真 司	株式会社百五銀行公務部 課長	百五銀行賞
7	筒 井 琢 磨	皇學館大学 現代日本社会学部 教授	皇學館大学賞
8	欽 矢 悦 朗	東京学芸大学 教授／特定非営利活動法人東京学芸大学こども未来研究所 副理事長	東京学芸大賞
9	徳 野 貞 雄	トクノスクール・農村研究所 代表／熊本大学 名誉教授	徳野賞
10	藻 谷 浩 介	株式会社日本総合研究所 主席研究員	藻谷賞
11	于 洋	華為技術日本株式会社（ファーウェイ・ジャパン） 渉外・広報本部 渉外・CSR部 シニアマネージャー	ファーウェイ賞
12	井 上 珠 美 西 川 俊 朗	三重県教育委員会 高校教育課 課長 三重県教育委員会 高校教育課 課長補佐 (未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員)	
13	大 学 生 SBP	中桐 優太、礪 伶奈、増井 香苗、林 一孝（皇學館大学 大学生 SBP 研究部会）	大学生 SBP 賞

※敬称略、50音順

特別賞審査員

参加団体の取組を各所属企業などの独自の基準に基づき評価をします。

No	氏名	所 属 等	特 別 賞
1	太 田 憲 明	一般社団法人未来の大人応援プロジェクト 理事／三重県 伊勢農林水産事務所 所長	未来の大人賞
2	加 藤 洋 嗣	マルシェ株式会社 代表取締役社長	マルシェ賞
3	楠 木 裕 子	株式会社アイブレーション 代表取締役社長	アイブレーション賞
4	黒 田 美 和	株式会社プラトンホテル 専務取締役 支配人	プラトンホテル 四日市賞
5	小 山 巧	三重県度会郡南伊勢町 町長	SBP 特別賞 (南伊勢町長賞)
6	柴田 まりこ	株式会社 LOCK 代表取締役社長	FOUR LEAF CLOVER 賞
7	須 崎 充 博	三重県伊勢市役所 伊勢市産業観光部 部長	伊勢市長賞
8	武 田 数 宏	公益財団法人修養団 伊勢青少年研修センター 所長	SYD 賞
9	柘 植 英 雄	株式会社赤福 執行役員	赤福賞
10	山 田 智 樹	セブン銀行 人事部 副参事／セブン＆アイ・ホールディングス 経営推進部（D-Stadium主宰）／ 立命館大学・イノベーションアーキテクト養成プログラム 客員教授	D-Stadium 賞
11	大 学 生 SBP	中桐 優太、礪 伶奈、増井 香苗、林 一孝（皇學館大学 大学生 SBP 研究部会）	大学生 SBP 賞
12	皇 學 館 大 学 学生スタッフ	皇學館大学 学生スタッフ 一同	皇學館大学 学生スタッフ賞

※敬称略、50音順

オンライン 交流会

これまでの「夜の市」をモデルに、インターネットに構築された仮想空間（Web会議システム）で高校生の様々な取り組みを披露し、交流を深める場として開催されます。

実際に開発した商品やオリジナルたい焼きなどをその場で購入したり、食べたりはできませんが、実演や取組紹介を通して、本フェアの参加者の高校生たちとオンラインで交流をお楽しみいただけます。

DAY 1

令和 2 年 8 月 1 日（土）午後、8 月 2 日（日）午前・午後の 3 回実施

- SBPチャレンジアワード：第 1 次審査で選ばれた最大 24 団体によるポスターセッションを Web 会議システムにてオンラインで行い、8 月 23 日（日）に行うオーラルセッションに参加する 6 団体を選ぶ。
- グループは最大 4 つに分け、午前・午後でそれぞれ発表・審査を行う。結果発表および講評は 8 月 9 日（日）に Web 会議システムを利用してオンラインで実施する。

グループ A 8月1日(土)

- 13:00 ～ 受付開始**
 ○審査員は 12:45 までに仮想の部屋『審査員控室』に入室する
 ○発表団体は 13:15 までに仮想の部屋『ポスターセッション グループ A』に入室する
 ○見学を希望の団体および個々の学生引率、関係者は、別途案内されたライブ配信会場に入室する
- 13:30 ～ オープニング**
 ○主催者代表挨拶（未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員長 岸川政之 他）
 ○オリエンテーション（審査委員紹介、高校生・大学生スタッフ紹介、諸連絡等）
- 14:00 ～ ポスターセッション**
 ○SBPチャレンジアワード参加団体の説明担当者がそれぞれ順番に発表を行う
- 16:00 ポスターセッション終了**
 ○閉会挨拶

グループ B 8月2日(日)

- 9:00 ～ 受付開始**
 ○審査員は 8:45 までに仮想の部屋『審査員控室』に入室する
 ○発表団体は 9:15 までに仮想の部屋『ポスターセッション グループ B』に入室する
 ○見学を希望の団体および個々の学生引率、関係者は、別途案内されたライブ配信会場に入室する
- 9:30 ～ オープニング**
 ○主催者代表挨拶（未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員長 岸川政之 他）
 ○オリエンテーション（審査委員紹介、高校生・大学生スタッフ紹介、諸連絡等）
- 10:00 ～ ポスターセッション**
 ○SBPチャレンジアワード参加団体の説明担当者がそれぞれ順番に発表を行う
- 12:00 ポスターセッション終了**
 ○閉会挨拶

グループ C 8月2日(日)

- 13:00 ～ 受付開始**
 ○審査員は 12:45 までに仮想の部屋『審査員控室』に入室する
 ○発表団体は 13:15 までに仮想の部屋『ポスターセッション グループ C』に入室する
 ○見学を希望の団体および個々の学生引率、関係者は、別途案内されたライブ配信会場に入室する
- 13:30 ～ オープニング**
 ○主催者代表挨拶（未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員長 岸川政之 他）
 ○オリエンテーション（審査委員紹介、高校生・大学生スタッフ紹介、諸連絡等）
- 14:00 ～ ポスターセッション**
 ○SBPチャレンジアワード参加団体の説明担当者がそれぞれ順番に発表を行う
- 16:00 ポスターセッション終了**
 ○閉会挨拶

DAY 2

令和 2 年 8 月 23 日（日）

- 午前中はSBPチャレンジアワードを開催する。第 2 次審査で選ばれた 6 団体によるオーラルセッションを Web 会議システムにてオンラインで行う。
- 午後からはオンライン交流会（SBP 実践発表会）を開催する。オンライン上で仮想ブース（Web 会議システムの会議室）を用意し、開発した商品や取り組みなどの発表を行う。また、行き来可能な仮想の部屋を用意し、他校の生徒や大人との交流を深める。
- オンライン交流会終了後、結果発表・表彰を行う。

- 8:30 ～ 受付開始**
 ○審査員は 8:30 までに仮想の部屋『審査員控室』に入室する
 ○発表団体は 9:00 までに仮想の部屋『SBP 交流フェア メイン会場』に入室する
 ○見学を希望の団体および個々の学生引率、関係者は、別途案内されたライブ配信会場に入室する

- 9:15 ～ オープニング**
 ○主催者代表挨拶（未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員長 岸川政之 他）
 ○後援団体代表挨拶（皇學館大学学長 河野 訓）
 ○オリエンテーション（審査委員紹介、高校生・大学生スタッフ紹介、日程確認、諸連絡等）

- 10:00 ～ オーラルセッション 参加団体によるプレゼンテーション**
 ○開会御挨拶 文部科学省 総合教育政策局地域学習推進課長 水田功
 ○発表団体：6 団体（エントリー団体総数：最大 24 団体中）
 ※団体ごとに 10 分間の発表をオンラインの Web 会議システムで行い、各審査委員から 10 分間の質疑を受けます。
 ※質疑は審査委員・特別賞審査員とも同時に行いますが、アワードの採点は審査委員が行い、特別賞審査員は特別賞のみ審査します。

- 12:30 ～ お昼休憩**
 ○『メイン会場』に入室したまま、各自、各場所で昼食等の休憩を行う

- 13:30 ～ オンライン交流会**
 ○『メイン会場』にてオリエンテーション（交流の仕方、時間などの説明）
 ○出展をされる団体はオリエンテーション後に各自のブース（仮想の部屋）へ入室する
 ○出展以外の団体および参加者は各ブースを自由に行き来し、交流を行う

- 15:30 ～ 結果発表・表彰**
 進行：未来の大人応援プロジェクト実行委員会

- 17:00 閉会式・終了**
 ○未来の大人応援プロジェクト実行委員会高校生委員長 菌井織枝 挨拶
 ○閉会の辞（未来の大人応援プロジェクト実行委員会委員長 岸川政之）

DAY 1

令和 2 年 8 月 1 日(土) 8 月 2 日(日)

【ポスターセッション】



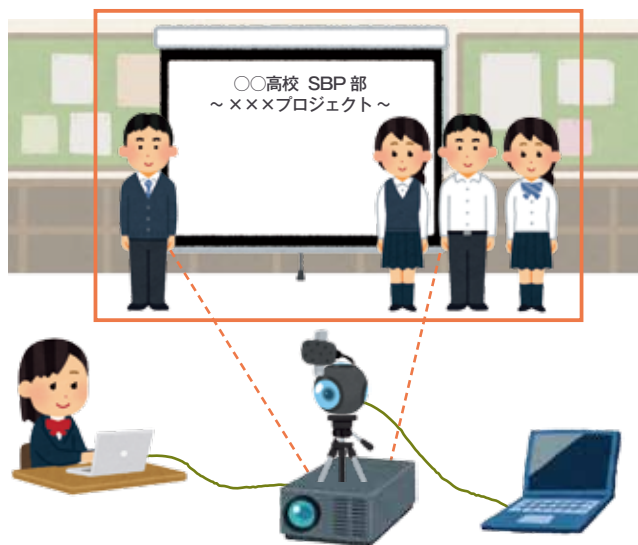
カメラやマイクはノート PC に備え付けのもの、または、USB の Web カメラやマイクを利用ください。また、事前にマイクやスピーカーの音量が問題ないか確認ください。

- ・ポスターセッションは**発表 5 分、審査員からの質疑応答の 5 分の合計 10 分**です。
- ・発表は最初の挨拶から最後の挨拶までの間に、**事前に録画した動画**を流します。
- ・動画は発表の様子を録画するものであり、加工等は不要です。また、発表時の展示物の掲示やモニタの利用は任意です。
- ・発表者は発表に集中できるように、**他の生徒がパソコンの操作**をしてください。
(カメラとマイクの ON・OFF、司会進行画面のピン止めの ON・OFF の 2 つの操作があります)
- ・当日は事前に発行をしている**発表用のアカウント**(学校名@mirai-otona.jp)を使って**仮想の部屋に入室**してください。

DAY 2

令和 2 年 8 月 23 日(日) AM

【オーラルセッション】



プレゼンテーションの操作は発表者または他の生徒が行います。プレゼンテーションを映すパソコンと Web 会議に接続するパソコンは別に用意してください。

- ・オーラルセッションは**発表 10 分、審査員からの質疑応答の 10 分の合計 20 分**です。
- ・発表は最初の挨拶から最後の挨拶まですべてをライブにて行います。**事前録画の再生など事務局による操作はありません。**
- ・発表者は発表に集中できるように、**他の生徒がパソコンの操作**をしてください。
- ・発表時に PowerPoint を利用する場合、PowerPoint の**内容がわかるように大きく映してください。**
Web 会議の画面共有機能は利用しません。
- ・発表者の全身が映る必要はありません。演劇・ダンスなどの実演をする場合はスポット・全体など**映り方を必要に応じて工夫**してください。

ポスターセッションの動画や交流フェアの様子は、未来の大人応援プロジェクトのホームページ・Youtube チャンネルをご覧ください。「未来の大人」で検索または、<https://mirai-otona.jp> にアクセスください。

DAY 2

令和 2 年 8 月 23 日(日) PM

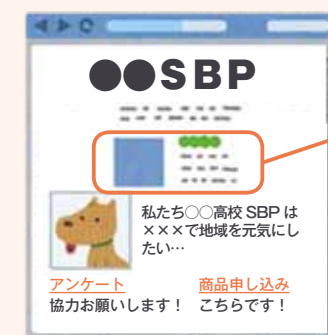
【オンライン交流会】

オンライン交流会は、それぞれの発表団体が各ブース(仮想の部屋)を持ち、ブースに訪れた他校の生徒や参加者たちに取り組みを発表し交流します。事前に申し込まれた一般・関係者の方も特設のホームページから各ブース(仮想の部屋)に参加して交流することができます。

オンライン交流会の参加イメージ

●各出展ブース●

発表団体の担当者が各ブースで待機し、取り組みや商品の紹介、実演などを行います。



アンケート



各ブース(仮想の部屋)では、発表団体の担当者とブースに訪れた参加者との間で交流をします。アンケートや商品の申し込みを希望する発表団体は、参加者にこれらを依頼できます。

SBP交流フェア



●メイン会場●

オープニング・オーラルセッション・閉会式については出場団体・審査員以外はライブ配信を視聴し参加することができます。



司会・発表者・
審査員・事務局



ライブ中継
(メイン会場のみ)

●コミュニケーションブース●

地域(各ブロック)や目的ごと(SBPの仲間を作るなど)の部屋、引率関係者(大人)などの部屋を用意します。



参加校 一覧

日本全国から 多くの高校生たちが参加!!



	ブロック	高等学校名	SBP チャレンジ アワード	オンライン 交流会 出展
1	北海道・東北	北海道留萌高等学校 商業研究会	●	
2	北海道・東北	青森県立鰺ヶ沢高等学校 鰺ヶ沢高校 SBP 研究会	●	
3	北海道・東北	青森県立木造高等学校深浦校舎 深浦町探究愛好会ふかうら SBP	●	
4	北海道・東北	青森県立三本木農業高等学校 農業クラブ執行部	●	
5	北海道・東北	仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部	●	
6	北海道・東北	福島県立ふたば未来学園 中学校・高等学校 未来創造探究 アグリビジネス探究ゼミ	●	●
7	関東	栃木県立那須拓陽高等学校 拓陽 SOY プロジェクト		●
8	中部	静岡県立島田商業高等学校 超☆珠算部	●	●
9	中部	浜松学芸中学校・高等学校 社会科学部地域調査班	●	●
10	中部	中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ	●	●
11	中部	愛知県立高浜高等学校 地域活動部 SBP 班	●	●
12	中部	福井県立若狭高等学校 海洋プラスチック再生プロジェクト	●	
13	中部	福井県立若狭高等学校 海洋科学科第2学年 若狭ウニウニ大作戦	●	
14	中部	福井県立若狭高等学校 食のまち小浜テイクアウト情報	●	
15	近畿	三重県立飯南高等学校 美術部		●
16	近畿	三重県立飯南高等学校 応援団 Circle	●	●
17	近畿	三重県立相可高等学校 農業クラブ	●	
18	近畿	三重県立相可高等学校 食物調理科		●
19	近畿	三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校 SBP		●
20	近畿	京都府立海洋高等学校 海洋資源科食品経済コース	●	●
21	近畿	和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」	●	
22	中国・四国	島根県立吉賀高等学校 吉高地域クラブ	●	●
23	中国・四国	愛媛県立土居高等学校 情報科学部	●	●
24	九州・沖縄	熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校 SBP 部	●	
25	九州・沖縄	沖縄県西原町 NS ² BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)	●	●
26	コラボレーション	浜松学芸高等学校 社会科学部地域調査班・青森県立鰺ヶ沢高等学校 SBP 研究会 浜松♡鰺ヶ沢 胸キュン絆プロジェクト	●	●

オープン参加団体

27. 青森県立十和田工業高等学校
28. 青森県立中里高等学校
29. 三重県立松阪商業高等学校

30. 三重県立白山高等学校
31. 三重県立紀南高等学校
32. 三重県立南伊勢高等学校度会校舎

北海道留萌高等学校 商業研究会

私たちの街「留萌」へ

新型コロナウイルスによって各地域イベントは中止となり、今年度の計画は大きく狂ってしまいました。

そこで、旭川市内の高校生 1,100 名のアンケート結果から検討し、各年代への情報発信について考え、3つのグループに分かれて活動しています。

昨年から取り組んだ「かずもちゃん焼き」の具材開発では、管内の小平町の鶏卵を活用し、白いカスタードクリームとの製造に取り組み、メニューを増やす研究をしています。

管外の同世代への情報発信として、「らきすた」の成功例を参考に、留萌への「聖地巡礼」を検討しています。作成したオリジナルキャラクターを活用して、缶バッジの製造販売、留萌の自然や文化などを取り入れた四コマまんがを作成等、留萌の魅力の発信を模索しています。

さらに、私たちが学んでいることを小学生へ発信することも検討しています。

今回は、直接道外の皆さんと友人関係を育むことができなくてとても残念ですが、来年伊勢市に行って交流することを目標にがんばっていきます。よろしくお願いします。



青森県立木造高等学校深浦校舎 深浦町探究愛好会ふかうら SBP

深浦町 PR プロジェクト始動!!!

深浦町探究愛好会ふかうら SBP は現在部員 9 名で活動しています。

これまで私たちは、深浦町特産のマグロをモチーフにした、マグロの形のたい焼き「マグロ焼き」の改良をしてきました。そして「ネギ納豆味」と「オレオ味」のマグロ焼きを開発し、実際にイベントで自分たちで焼いて、販売しました。

また、深浦町の特産品の中でも特にふかうら雪人参を県外の人に知ってもらうために「セレクトギフトボックス」も作りました。中にはふかうら雪人参を使った商品の詰め合わせが入っています。

今年は「深浦町 PR プロジェクト」と題して、深浦町の特産物を使ったフリーズドライスープを考え、商品化を目指しています。また、深浦町を紹介するパンフレット作成や動画作りも考えています。このパンフレットや動画を見てたくさんの観光客の方々に興味を持ってもらい、ぜひ深浦町に遊びに来てほしいです。

私たちふかうら SBP はこれからも、地域資源を活かした様々な活動を展開し、深浦町内では深浦の魅力の再発見を、町外では深浦を知ってもらうきっかけ作りを目指します。



青森県立鰺ヶ沢高等学校 鰺ヶ沢高校 SBP 研究会

みんなで一緒に

私たち青森県立鰺ヶ沢高等学校 SBP 研究会は、青森津軽 SBP の一員として今年で活動 5 年目を迎えましたが、結成当時にみんなで決めた「鰺ヶ沢町を PR する」を合言葉に、これまで様々な取り組みを行ってきました。

具体的には、小さい子供からお年寄りの方までをひとつにしようとする「0 歳からの SBP」。地域活性化マン戦隊ショーや困りごと応援隊などの活動を行っています。また、セレクトギフト「鰺の味」や「力士くんおやき」などの人気商品も作ることができました。

最近では、静岡県にある浜松学芸高等学校と協働した「胸キュンプロジェクト」が好評で、みんなで作ったポスターが鰺ヶ沢町の観光パンフレットに採用されました。これをきっかけに、鰺ヶ沢町役場の若手職員のみなさんと交流を深めていきたいと考えています。

以上のようにこれまで多くの方々のおかげで活動を継続することができましたが、これからはさらに進化するため、自分たちから積極的に情報発信していきたいと思っています。みなさんとどこかでつながることを期待しています。よろしくお願いします。



青森県立三本木農業高等学校 農業クラブ執行部

【志】 + 【支】 = 【幸】 街ぐるみの地域活性化！

本校は今年で 122 周年を迎え、数多くの優秀な【人材】を県内外に輩出してきました。また、農業関連産業が抱える多くの課題にアプローチし、十和田市の基幹産業である【農業】に大きく貢献してきました。

そんな中、近年は農業従事者の高齢化、新規就農者の減少が目立ち、農業衰退が懸念されています。また、農畜産物の輸入が活性化したことで、価格が低下し、農家の収入減が問題視されています。そこで、「街全体を元気に！そして幸せに！」を目標とし、日々活動を展開しています。

昨年度は【志合わせ暗闇レストラン】を開催し、地域活性化の志を持つ人を繋げ、地域活性化の足掛かりとしました。今年度は、昨年度の活動を改善した【しあわせプロジェクト】を展開することで、より多くの方々を巻き込み、地域全体で盛り上がるよう仕掛けます。

これからも、学校の歴史とともに地域の課題解決に全力で挑みます。



仙台市立仙台商業高等学校 商業情報部

秋保の新しい在り方とさらなる魅力発信！

仙台市立仙台商業高等学校は、男子校である仙台商業高校と女子校である仙台女子商業高校が統合し、今年で12年目です。私たち商業情報部は、地元、宮城への地域貢献を目的として、地元の企業と協力し、商品開発や新たなビジネスの形を考案する活動をしています。また、販売活動の場である「あきない屋」の outlet、ボランティア活動などにも積極的に取り組んでいる部活です。

昨年に引き続き今回も仙台市太白区の秋保に注目しました。県内でも有名な観光地の一つですが、以前から懸念していた高齢化や人口減少に加え、新型コロナウイルスの影響で観光業を中心としている秋保は大きな打撃を受けました。その現状を調査し、新しい在り方を見いだすことで、秋保の再興・さらなる活性化を目指しました。

その中で昨年開発した、「そばのみそホワイト」の販路拡大と売上向上を目指し、改良を行いました。また、秋保の魅力をもっと身近にかつ、新型コロナウイルス感染のリスクが少ないオンラインでの魅力発信の重要性にも注目し、今後の展望に生かしていきます。



栃木県立那須拓陽高等学校 拓陽 SOY プロジェクト

ミライノタネをシェアしよう！

那須拓陽高校は農業系3学科、家庭系学科、普通科を有し、5学科連携としてペンタゴンプロジェクトを掲げています。各科の特色を生かし、地域と協働した様々な取り組みを展開しています。

拓陽 SOY プロジェクトは、「大豆100粒運動」を活動の軸に、無農薬・無化学肥料により地大豆を育て、地域の加工所と連携して製品化をしています。また、ジュニア豆腐マイスターを取得し、それらを生かした地域交流や国際交流を実施しています。

昨年12月には「タネ」と「オーガニック」のイベント「オダイズサイ2019 たねはともだち」を学校農場で主催。オーガニックマルシェ、講演会、トークセッション、映画上演会や味噌造りワークショップなどを催し、多くの方々に来場いただきました。今年は「おうちでたねまき」と題して、全校生徒に大豆のタネを配りました。また、「ミライノタネ」をテーマに外部団体と「コンパニオンプラント」を生かした取り組みを始めました。

守ることだけでなく、新たな価値を創出することで、地域に遺されたタネを、活用しながら継いでいくことをミッションとしています。私たちは、すべての始まりである「タネ」からダイナミックな自然にアプローチします！



福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 未来創造探究 アグリ・ビジネス探究ゼミ

富岡のさくら復興プロジェクト～届け！さくらタピオカ～

私たちの学校は、福島県双葉郡内の5校の高校の歴史と伝統、教育内容や特色を踏まえて幅広い学びを可能とした2015年に設立された総合学科高校です。

震災・原発事故という未曾有の経験からの復興を担う人材の育成を目指す学校として、これまでの価値観、社会のあり方を根本から見直し、自らを変革し、地域を変革し、社会を変革していく「変革者」の育成を教育目標とした学校です。

私たちが取り組んでいる未来創造探究の内容を紹介します。

福島県双葉郡富岡町は、桜が有名です。しかし、東日本大震災以降人が集まらず特に若い世代からの注目がありません。これからのまちづくりのためにも、若い世代が必要だと感じたため、同世代の人たちに人気のタピオカを使ったさくらタピオカの商品開発を行っています。実際に富岡町に足を運んで、夜ノ森の桜を見に来てもらえるようにするために、味覚に訴えるタピオカで富岡町のシンボルである桜をイメージした商品にしました。同時に缶バッチのデザインも行い、震災により富岡町から避難した若い世代に、富岡町へ関心を持ってもらえたらうれしいです。



静岡県立島田商業高等学校 超☆珠算部

～温故而知新～

珠算や商店街の復活ではなく、特徴を活かした取り組みを探る

<学校紹介>

本校は、島田市にある商業高校です。島田市内には、トーマスやアプト式電車で有名な大井川鐵道やギネス認定の蓬莱橋があります。

総合ビジネス科と情報ビジネス科に分かれており、総合ビジネス科では、簿記やマーケティング、商品開発を中心に授業を行っています。

情報ビジネス科は、プログラミング言語で地域活性化やSDGsの問題解決を目的とするアプリ開発など、情報処理系の授業を中心にを行っています。

<活動内容>

珠算部では、そろばんや電卓を使った普通計算の他、ビジネス計算に取り組み、資格取得や大会に向け練習しています。さらに、地域を活性化させる活動に取り組んでおり、昨年は「和菓子バル」というイベントを市役所や商店街の和菓子屋さんと連携して行いました。

珠算部はスタンプラリーや和菓子の販売、昔の遊びを体験するコーナーを企画、運営しました。島田商業の近くにある商店街を活性化させるための企画として、今年度は諏訪原城について取り組んでいます。

今後も島田市をより良くしていくため、第2弾の和菓子バルや諏訪原城御城印など町おこしイベントを積極的に企画し、商店街の活性化に向けて取り組んでいきたいです。



浜松学芸中学校・高等学校 社会科学部地域調査班

浴衣 DeNight ～モノづくりからコトづくりへ～

私たち浜松学芸中学校・高等学校は、静岡県浜松市中心部にある芸術科を有する中高一貫校です。本年度から、普通科の中に地域の魅力発進にとりくむ「地域創造コース」が新設され、美術・書道・音楽の3つのコースの芸術科があり、学と芸の融合した学校です。

私達は地域の魅力を発信する活動を「胸キュンプロジェクト」と命名し、浜松市公認「青春はままつ応援隊」として活動しています。地場産業の注染浴衣のPRも、今年で4年目を迎えました。これまで行ってきた新作柄のポスターやカタログ制作や浴衣生地を用いたシャツはもちろん継続していますが、今回は「モノづくり」から、いよいよ「コトづくり」のステージに挑戦しました。その名も「浴衣 DeNight」！お気に入りの浴衣を着て出かけたくなる創作盆踊りのイベントを、1から創り上げました。多くの困難を乗り越え実施したイベントは、多くの来場者の方と出会うことができ、参加した方々から「来年もまた会いたい」という声をかけていただきました。浴衣生産の街から浴衣を着てみたくなる街への変化への挑戦。私達の活動は新しいステージに突入しました。

来年は、皆さんと浴衣 DeNight で出会いたい。そんな想いを全国に広めていきたいと考えています。



中部大学春日丘高等学校 インターアクトクラブ

目の前の人を笑顔に！

中部大学春日丘高校インターアクトクラブは部員65名、年間活動数は300回を超えるボランティアを行う部活動です。主な活動場所は障害者施設、高齢者施設、保育施設、また地域のお祭りなどです。活動内容は手遊びや体遊び、療育、お祭りの運営、東北・障害者就労支援商品の販売、ダンスパフォーマンスなどを行っています。

このようにたくさんの活動を行っているからこそできる、様々なオリジナルプロジェクトを展開しています。その1つが数回にわたる「ありがとうカンパニー」です。

私たちは今までの活動を通して、高齢者や障害者の方から「ありがとう」の言葉をもらいました。しかし、高齢者や障害者の方は「ありがとう」と言われる機会が少ないことに気づきました。高齢者や障害者の方に本当の意味での「ありがとう」を届けたい。そんな思いから始まったのが数回にわたる「ありがとうカンパニー」です。企業と連携することで商品価値を上げ、株式会社 ramo という会社も設立しました。コロナウイルスの影響により外での活動ができない中でも、オンライン会議などを行うことで新商品の開発に成功しました。



愛知県立高浜高等学校 地域活動部 SBP 班

つなげてみりん！ ～Sの絆焼きで地域にエール～

高浜高校地域活動部 SBP 班は、4年前から「Sの絆焼き型」の製作・販売に取り組んできました。「Sの絆焼き型」とは、オリジナルデザインが可能な焼き型です。「Sの絆焼き型」は、お客様から依頼されたデザインを瓦職人（鬼師）が立体的な形にして、それを基に、こちらも市の主要産業である自動車部品工場が金型を彫り込むという工程を経て製作しています。これまでに、青森県の3つの高校さんと三重県立相可高校さん、シーホース三河さん、そして、新たに、熊本県立天草拓心高校さん、NEXCO 中日本さんの焼き型を計10台製作しました。中でも、愛知県のプロバスケットボールチームであるシーホース三河さんと協力して、キャラクター焼きの販売を行い、その利益で地元の子供たち100人を試合に招待するプロジェクトに力を入れてきました。しかし、目標個数であった3500個を販売し、招待試合を行おうとした矢先、コロナウイルスの影響で試合が中止になってしまいました。今シーズンは、招待試合が行えると信じて、再び頑張っていきたいと思います。これからも、「Sの絆焼き」を通してたくさんの方々とつながり、笑顔の輪を広げていきたいと思っています。



福井県立若狭高等学校 海洋プラスチック再生プロジェクト

海洋プラスチックを地域の宝に！

私たちは、海洋プラスチックの回収と再利用方法について研究しています。海にはたくさんのプラスチックごみが落ちています。海外では、プラスチックごみを回収するごみ箱型の装置がありますが、日本にはまだありません。よって、私たちが日本初の海洋プラスチックの回収装置を作りたいと思い、研究を始めました。具体的に、海のごみ箱やルンパのような回収装置を作って、人手がなくてもゴミを回収できるようなものを考えていきます。

小浜湾の砂浜にあるプラスチックごみは、発泡スチロールが最も多いことが分かっており、先行研究では、地元食品加工会社と連携し、発泡スチロールの再利用製品を開発しました。しかし、他のプラスチックごみに関しては、有効な再利用方法がまだ開発されていません。そこで私たちは、海ごみを「資源」として新たな価値を生み出すために、海洋プラスチックから皿や箸やスマホケースなどを作ることを考えています。特に箸は、若狭高校がある小浜市の特産品であり、地元の箸会社などと連携して商品開発をしていきます。回収したプラスチックを地域の宝として利用していく方法を考えていきたいです。



福井県立若狭高等学校 海洋科学科第2学年 若狭ウニウニ大作戦

アカウニ資源の回復とムラサキウニ資源の有効利用を目指す画期的な取り組み！

私たちは若狭地域で重宝されているアカウニの資源を回復させるために、2つの視点で研究に取り組んでいます。1つは同じ餌を食べているムラサキウニを駆除し、アカウニが食べる海藻類を残し、アカウニ資源を増やそうとする試みで、もう1つは駆除したムラサキウニの生殖巣を加工することで付加価値をつけ、地域に新たな産業を構築するという試みです。

地域の漁業者にインタビュー調査を行ったことで地域が抱える課題を明らかにし、両者のウニをサンプリング調査したことで一石二鳥の研究を展開することができました。

近年、全国的にそして福井県もウニ資源が減少しています。県北部では三大珍味の1つである「越前の塩雲丹」の原料であるパフンウニが30年ほど前と比較すると約5%にまで激減しました。県南部の若狭地域でもアカウニの減少が問題となっていますが、その一方で、ムラサキウニが増え続けています。ほとんど漁獲されていないこのムラサキウニを「塩雲丹」にして付加価値を！新たな産業を構築すると同時に、アカウニ資源の回復にも尽力していきます！



福井県立若狭高等学校 食のまち小浜テイクアウト情報

「食のまち」を活かした助け合い、 経済循環のしくみ、with コロナのまちづくり

こんにちは！
私たちが行ったコロナ禍のまちづくりは、元気がなくなった飲食店に活力を与えたい、市民を元気づける手助けをしたい、その思いだけで走り出しました。先行きが不透明であったため、とにかくスピード重視で活動を始めました。よって、市民への浸透も速く、市のコロナ対策を進めるインフルエンサーとなりました。

短期間で多くのメディアに取り上げられたこともあり、行政、企業、市民への影響力は大きく、市の経済循環、コロナ下での豊かな生活につながりました。

私たちの活動は、私たちを中心に企業・行政と連携し、コロナ禍の経済を循環させ、飲食店と市民の相互の助け合いの仕組みをつくりました。まず、外出自粛により市民同士の繋がりが薄れたことを問題視し、対話を情報源にする市民に情報を届けるために、SNS上にテイクアウト情報ページを開設しました。次に行ったフォトコンテストは、ネガティブな空気を一掃し、市が元気になれるイベントになりました。

この活動でできた新たな市民同士のつながりは、コロナ収束後も継続していき、魅力ある地域づくりの基盤になっていくと期待しています。



三重県立飯南高等学校 美術部

緑茶ラテアートで描く地域の未来

三重県立飯南高等学校美術部では、地元の深蒸し緑茶を使用した「緑茶ラテアート」に挑戦しています。地元のお茶の素晴らしさを多くの人に伝え、地域を盛り上げるため「飲んでよし！見てよし！」そして「飯南っていいな！」と感じていただけるよう、その活動に「IINAN いいな！LATTE」と命名しました。

地域の方々をお招きした試飲会では、「飯南高校でこんなにも素敵な活動が始まるなんて！」など会場に笑顔があふれ、連携中学校と一緒に出店した際には約120人のお客様が長蛇の列を作られ「地域が揺れた」と感じました。その他、知事にお召し上がりいただいたり市の文化財でも出店したりする中、私たちの活動を地元のお茶屋さんが見守ってくださり、お店に併設されている日本茶カフェで「地元の高校生が地元のお茶を使い地元のお茶屋さんで提供する深蒸し緑茶ラテアート」をコンセプトに毎週の出店が実現しました。売り上げの一部は、松阪市に寄付しました。

私たちの活動により地元にとくさんの人が訪れ、地元のお茶の素晴らしさをもっと知ってもらえるよう、これからも頑張ります。私たちの詳しい情報は、「飯南高校美術部」で検索していただきフェイスブックをご覧ください。



三重県立飯南高等学校 應援団 Circle

今ならできる。今しかできない。

私たちの学校は、昭和23年にその歴史をスタートさせ、平成30年度に創立70周年を迎えた地域の伝統校です。学校がある飯南・飯高地域は、美しい自然、長い歴史と豊かな文化を持つ素晴らしい地域です。一方、少子高齢化・過疎化が進んだ「世界の課題の最先端」の場所の一つです。

應援団 Circle は「学校地域を盛り上げる」ことを主眼に活動を行っています。地域の中学生と中高生の店 CHALLENGE & DREAM の出店や大学生、地域の大人と積極的に関わりながら地域課題解決に取り組んでいます。

私たちは活動の中で、地元の魅力を、地域素材を利用し発信できないかと考えました。学校の周りにはどのようなものや仕事があるのかを調べる中で、自然が豊かであり、木に囲まれた地域ということに着目し、製材加工会社「もくいち／マルゴ株式会社」さんを訪ねました。その中でこの地域が木と共に発展してきたこと、木を管理することで山や川、海を守っていることを学習しました。また「沖中造林株式会社」さんが管理する山に入れていただき、木の壮さを肌で触れ、その木を利用し、地域を知ってもらうため・地域にお金を生み出すことを目標に商品開発が始まりました。約1年をかけて、月に2回程度の会議を開き、アイデアを商品という形あるものにしていきました。高校生の意見と企業側の意見を何度も交わしながら、商品の開発・デザイン・ロゴ・値段・販売方法まで生徒が企業と共に計画的に進めました。



三重県立相可高等学校 農業クラブ

三重県南部に芍薬産地を ～美のまち多気町を目指して～

きっかけは「三重県の南部にも産地ができないか？」という芍薬生産農家さんの言葉でした。三重県では鈴鹿市に産地があり、高効率栽培システムの確立・実証に取り組んでいますが、各地に普及するまで至っていないのが現状です。また、国内を見ても1995年に585tあった生産量が2010年には44tまで激減しました。そのため輸入する中国産の価格も高騰し良質な製品の入手が困難となりつつあります。国内栽培地の衰退は栽培技術が失われただけでなくその土地に適した種苗を失うことになり国内栽培の障壁ともなっています。そこで、私たちは相可高校生産経済科で学んだ技術や知識を活かしながら国内の芍薬栽培を守ることと三重県の南部にも芍薬栽培普及を目標に芍薬プロジェクトを結成し調査・研究に取り組みました。

そして、栽培の成功だけでなく経営診断、調査品種の拡大、バイオマス栽培、さらには商品開発にも成功し芍薬産地として第一歩前進しました。



三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 南伊勢高校 SBP

『地域の方とともに新しい価値を創造します』

海の幸、山の恵、自然の良さを全身で感じられる南伊勢町に、私たちの学校があります。しかし、南伊勢町の人口減少は著しく進んでいます。本校では、岸川政之さんの講演をきっかけにまちづくりへの気持ちが高まり、全国で最初のSBPが発足しました。私たちは、自分たちの町の魅力を知り、地元愛を育て、地域資源を生かしたビジネスを立ち上げ、自ら働く場を確保することで、地域に残れる仕組みを作っていこうと活動しています。

まず、南伊勢町にある特産品の魅力を発信するために、セレクトギフトを企画しました。高校生が選んだ町の特産品を1つの箱に詰め合わせたもので、さまざまな工夫と趣向を凝らした商品です。

また、町のゆるキャラ「たいみー」の形をしたたい焼き「たいみー焼き」を販売しています。さらに、地元の小学生にたいみー焼きを使った授業を行い、これからのふるさとを創っていく仲間とともに成長しています。

そして今年度は、これまでにない新しい活動に着手し、SBPや南伊勢町のことをより知ってもらえるよう頑張っています。



三重県立相可高等学校 食物調理科 調理クラブ

めざすは「食のプロフェッショナル」!

私たちが目指す夢は、ずばり、「食のプロフェッショナル」。日本一の板前になりたい、自分の店を持ちたい。入学時の熱い思いを糧に、私たちは3年間、この学科で頑張ります。

最近では、地域との交流を大切にしながら、三重の食や和食を世界に発信しています。「高校生国際料理コンクール」での金メダル獲得と食文化交流、三重の代表として「伊勢志摩世界サミット」では配偶者プログラムの食事とサービスの提供をしました。世界で活躍する調理師を目指してアメリカ、フランス、台湾でインターンシップも行っています。

また、研修施設「まごの店」で高校生レストランを運営し、プロの料理人の卵として勉強しています。

高校生の若い力を全国や世界に向けて発信するチャンスがいっぱい! 相可高校調理クラブの挑戦は続きます!!



京都府立海洋高等学校 海洋資源科食品経済コース

「コロナに負けない」

食品経済コースは、「水産食品の製造・加工・流通を学ぶ」、「地元食材を活用し、地産地消に努める」ことを目標に、未来のスペシャリストの育成に力を入れています。

平成27年度、本校は、学校の敷地内に、保健所の「飲食店営業許可」を得て、高校生レストランを開始し、定例で開催しています。レストランメニューとして毎月、地元の魚介類を中心としたメニューを考え、定例で開催し、地元素材の魅力を発信しています。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度3月から、定例レストランの中止を余儀なくされました。その後、緊急事態宣言は解除されましたが、レストランの再開に多くの時間と労力を費やし、現在も試行錯誤の中ではありますが、なんとか7月から定期開催も再開することができました。

その中で、私たちは、「今しかできないこと」「いまだからこそできること」を多く学ぶことができました。まずはお弁当の「予約販売」。私たちは、ガイドラインに従い、「三密」を避けながらの販売で、大きな力を付けました。そして「通信販売」。送料がかかる通信販売において、いかにお客様に満足していただけるかを考え、個包装、内装、外装すべてにこだわった商品を作り上げました。そして、「屋上レストラン」。校舎の屋上で7月にレストランを行い「今しかできないこと」「今だからこそできること」を実践することができました。これらの経験を活かし、「コロナに負けない」海洋高校を目指していきたいと思います。



和歌山県立神島高等学校 商品開発プロジェクト「神島屋」

～お弁当で梅を食べようキャンペーン～

本校は和歌山県南部に位置し、大正5年に田辺実業学校として発足してから今年で105年目を迎える学校です。学科は経営科学科と普通科の2学科があります。

平成24年度より、経営科学科における課題研究として「商品開発」の講座を設け、地域にある唯一の商業学科として、特産品である「梅」の消費拡大に協力できるように、「梅」を用いた商品開発に取り組んでいます。また、開発した商品は「神島屋」として、地域内外の様々なイベントで販売しています。

コロナウイルスの影響もあり、これまでのような調理や販売を中心とした取り組みが難しい中で、神島屋が今できることとして、梅をPRするとともに飲食店や販売店舗を応援することを目的として「お弁当で梅を食べようキャンペーン」を実施しています。キャンペーンの内容は、①ウメエ弁当のテイクアウト用チラシ作成、②ウメエ弁当イベント販売、③私のウメエ弁当写真コンテストとなっています。



島根県立吉賀高等学校 吉高地域クラブ

それいけコッペパン！ ～つなぐプロジェクト～

島根県立吉賀高等学校地域クラブです。私たちの学校は全校生徒109人の小さな学校ですが、生徒全員が「地域クラブ」の部員となっています。7年前に活動を始めたこのクラブも町の中で存在が定着してきました。今では年間通して行われる様々な地域活動に参加することで「地域」と「高校」が支え合う関係を築きあげています。

そして、6年前に地域クラブが発案し、地元企業がバックアップして商品化された「吉高ライスバーガー」は、現在もこの地域における吉賀高校の看板商品となっています。

今回私たちが取り組んできた「それいけコッペパン つなぐプロジェクト」は、吉賀町内の有機農業生産者、障がい者施設、町の産業課、などたくさんの人に支えられて商品化に近付いています。予定していたイベントがすべて中止となって販売までには至っていませんが、昨年思い切り走り続けたこのプロジェクトをぜひ皆さんにお伝えしたいと思っています。



愛媛県立土居高等学校 情報科学部

高校生が核となった地方創生ネットワークシステムを構築し 持続可能な地域社会を実現するためのESD活動モデル

一昨年の8月、観光甲子園で全国優勝した成果を土台として、昨年10月に商品化した高校生発広域連携型インバウンド盆栽ツアープランを、今年7月、親子で四国オンライン体験フェスに出展しオンライン生中継で世界に向けて発信しました。全国1位からさらにレベルアップを図り、本物のビジネスへと成長することで持続可能な地域社会を実現することが僕たちの夢です。

地場産業のPR、伝統文化の伝承、特産品や農産物の商品開発、インバウンド観光の推進など様々な活動をしています。最も大切にしているのは『地域社会への貢献、社会奉仕』をもとにしたビジネス活動を行うことです。

昨年度は、国境を越えていろいろな国々の外国人と交流し、様々な文化や多様な価値観を学ぶことができました。宇宙から見れば、地球に国境など存在しません。あるとすればそれは人間の「心の壁」だと思います。世界は一つ。僕たちが彼らと認め合うことで、多文化共生（ダイバーシティ）の実現につながると実感しました。

これからも故郷を創生し、ESD活動を通して、多様な価値観を尊重し合い、互いに共存できる社会、世界平和を願って活動していきたいと思っています。



熊本県立天草拓心高等学校 天草拓心高校SBP部

「天草の魅力を全国へ!!」

天草拓心高校SBP部は昨年の4月に発足し活動を進めています。私たちが住む天草は海に囲まれた美しい自然豊かな島です。柑橘類や新鮮な海産物などの資源が豊富で世界遺産の崎津集落もあり、「宝島」とも呼ばれています。この魅力ある天草をより多くの方々に知っていただき、天草を活性化させたいと考えています。

現在、あまりん焼き（Sの絆焼き）と防災用非常食の開発に取り組んでいます。あまりん焼きのデザインは、天草の有名な「イルカ」と、天草の市花である「はまぼう」を組み合わせたもので、一目で天草の魅力が伝わるものにしました。このあまりん焼きをイベント等で販売し、そこで得た利益を天草の自然景観保護活動の支援に用いたいと考えています。

防災用非常食は、三重県の南伊勢高校と共同で取り組んでいます。今後予想される災害に対し、少しでも被災者の力になりたいと思い開発に取り組むことにしました。南伊勢高校とテレビ会議で案を出し合い、缶詰製造や食品乾燥など本校の生産技術を生かした商品開発を進めています。

これらの活動を通して、私たちの大好きな天草の魅力を、より多くの方々に知っていただけるように頑張ります。



沖縄県西原町

NS²BP (西原町学生ソーシャルビジネスプロジェクト)

私たちが西原町を元気に！

私たち NS²BP は沖縄県の西原町を拠点に『高校生が、西原町を元気にする！』を目標に日々活動しています。

NS²BP は西原町在住の高校生ならだれでも参加でき、現在、県内 14 校から集まった約 50 名の生徒が現役生として活動しています。これまで NS²BP は、演劇プロジェクト、商品開発プロジェクト、国際交流プロジェクト、地域ボランティア活動、計 4 つのプロジェクトに取り組んできました。

しかし、現在 NS²BP は新型コロナウイルスの影響により満足に活動を行う事が出来ていません。そこで、ソーシャルディスタンスを鑑み、役員会議などをオンラインで行うなど、工夫し小規模な活動を行っています。

今年度の NS²BP は、新型コロナウイルス感染症や新しい生活様式などに対応した新たな活動方法、プロジェクトを見出していきたいと思います。



浜松学芸高等学校 社会科学部地域調査班・青森県立鰺ヶ沢高等学校 SBP 研究会

浜松♡鰺ヶ沢 胸キュン絆プロジェクト

鰺ヶ沢協働プロジェクト

私たち鰺ヶ沢高校と浜松学芸高校は、第 3 回 SBP 交流フェアをきっかけに相互の交流が始まりました。最初は何ができるのか不安で押しつぶされそうでした。しかし、学芸高校の実施していたポスター制作を協働で行うことで、新しい活動の形や幅が広がるのではないかと期待しました。

そして昨年 10 月、浜松学芸高校の生徒を鰺ヶ沢に迎えてポスター制作活動を行いました。はじめは撮影地の意見が合わないなどの食い違いがあり、出だしは順調とはいえませんでした。しかし、日常の中の当たり前の風景が、他の地域の人たちには輝いて見えるという事に気づかされました。慣れないポーズ、なかなか浮かばなかった言葉、膨大な写真の選定、そしてできあがったポスター。活動が終わる頃にはお互いすっかり打ち解けて、満足いくポスターを創り上げることができました。

学芸高校で取り組んでいた Art の視点を取り入れたポスタープロジェクトは、他の地域でも通用するのか。それが私達の疑問でした。今回の鰺ヶ沢高校との協働の成果は、私たちに大きな自信を与えてくれました。今度は、自分たちにしかできない活動ではなく、協働の輪として広がっていくことに大きな期待をしています。

私たちが繋いだ胸キュンプロジェクトの絆を全国へ！



お客様に必要とされる会社を目指して
Inside Brain

I・BRAIN

印刷

広告

動画

ホームページ

株式会社 アイブレーン

本社 〒516-0017 三重県伊勢市神久3丁目5-67
TEL 0596-27-1111 FAX 0596-23-0125
<http://IBRAIN.mie-net.ne.jp>



伊勢
名物

福

本店 〒516-0025 伊勢市宇治中之切町26番地
電話 0596-22-2154(代) フリーダイヤル 0120-081381
<https://www.akafuku.co.jp>



すべての人に「つくる力」を Adobe Creative Cloud



アドビ株式会社

Adobe, the Adobe logo and Creative Cloud are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. © 2020 Adobe. All rights reserved.

脈々と受け継がれてきた伝統や文化、
豊かな自然に恵まれた伊勢志摩という地で
さまざまな人々と触れ合い、
地域の課題に向き合っていく。
柔軟な視点としなやかな発想で、
もともとあるものを大切を守りながら、
未知の魅力を発見し、
新しい価値を生み出していく。
それが、これからのわたしたちの役割だと、
地域の活動で気づくことができた。
この地を支え、変えていくことから、
日本を元気にしたい。
そんな将来を描き始めるようになった。
大らかに、深く、柔らかく、温かく、熱い。
伊勢志摩という教科書は、
いつもわたしたちに多くのことを教えてくれる。

伊勢志摩、
という教科書。



皇學館大学 皇學館高等学校 皇學館中学校

三重県伊勢市神田久志本町1704 TEL 0596-22-0201 (代表) <https://www.kogakkan.ac.jp>



エヌティーテクノ株式会社

〒444-1314 愛知県高浜市論地町五丁目1-10
TEL.0566-52-0020 FAX.0566-52-5303

エヌティーツール株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10
TEL.0566-54-0101 FAX.0566-54-0111

エヌティエンジニアリング株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町三丁目3-21
TEL.0566-52-0015 FAX.0566-52-4148

エヌティ精密株式会社

〒444-1335 愛知県高浜市芳川町一丁目7-10
TEL.0566-52-5173 FAX.0566-52-5191

SYD

みんなの幸せを願う『幸せの種まき運動』を
全国的に展開しています

SUPPORTING
YOUR
DREAMS



SYD 伊勢青少年研修センター

伊勢市宇治今在家町 153

TEL 0596-25-0265

FAX 0596-25-0309

HP <https://syd.or.jp/ise/>





Academy Dialogue Create

文章を書く
編纂の教室

アート思考
アート思考

中学生がもっと自由になる
オンラインの全国アカデミー

D-Stadium

発想法
全国に仲間を作る
ゼロ距離

面白人へのインタビュー

2020年8月～2021年3月
無料 定員50名

<https://d-stadium.jp/> 検索

調査業務

- 調査研究・地域活性化支援
地方公共団体等が抱える課題に対して、ご支援・コンサルティングを行います。
- 地域経済・産業動向調査
地域経済、産業動向、経済波及効果などを調査しています。

コンサルティング業務

- 経営改善支援
- 賃金・人事・雇用管理
- 教育・研修・講師派遣
- マネジメントシステム導入支援
- BCPコンサルティング
- PPP・PFI手法の導入・事業実施支援

幅広い分野で、お客さまのニーズにお応えします。

会員制度

- 百五経営情報クラブ
(特別会員、一般会員)
総研懇話会、商談会・ビジネスマッチング、ビジネスセミナー、経済講演会、勉強会開催
教育研修用DVDの無料貸出、定期刊行物など
- 情報セキュリティコンサルティング
(情報セキュリティ会員)

主な定期刊行物



三重県経済のあらし 三重県会社要覧 賃金統計ガイド

HRI 株式会社
百五総合研究所

TEL.059(228)9105 FAX.059(228)9380
URL <https://www.hri105.co.jp/> E-mail info@hri105.co.jp



人と地域に
寄り添い
同じ未来を
見つめる銀行。

お気軽にご相談ください。
《資産運用・住宅ローン・ビジネスローン》

百五銀行
FRONTIER BANKING

インターネットホームページ <https://www.hyakugo.co.jp/>

FRONTIER BANKING

**あらゆる人、家庭、組織にデジタル化の価値を提供し、
すべてが繋がったインテリジェントな世界を実現する**

ファーウェイ（漢字表記：華為技術）は1987年に中国深センで設立された世界有数の ICT インフラとスマート端末を提供するプロバイダーであります。170 以上の国と地域で事業を展開し、30 億人以上の人々にサービスを提供しています。

2015年に設立されたファーウェイ・ジャパンは、通信事業者向けネットワーク事業、法人向け ICTソリューション事業、コンシューマー向け端末事業の3つの事業分野を柱とし、日本市場のお客様のニーズに応える幅広い製品やサービスを提供しています。



构建万物互联的智能世界
Building a Fully Connected, Intelligent World



華為技術日本株式会社
(ファーウェイ・ジャパン)

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-5-1
大手町ファーストスクエア ウェストタワー 12 階
代表電話番号：03-6266-8008
<https://www.huawei.com/jp/sustainability>




プラトンホテル四日市



宿泊 TEL.059-352-0300

宴会 TEL.059-352-0301

- 所在地 三重県四日市市西新地 7-3
- 交通 近鉄四日市駅北口より徒歩 3 分
- 駐車場 33 台

プラトンホテル



platon.hotel



プラトンホテル四日市



LOCK

Lock ~ Happiness

わたしたちは、
世の中のすべての人が
幸せを手笑顔あふれる
社会実現に努めます

マルシェ株式会社



本格炭火焼

一本一本心を込めて丁寧に。
素材にも焼く技術にもこだわった
本格炭火焼のお店。

炭火焼
ハ剣伝
HAKKENDEN



なにわの味

串カツに焼そばにどて焼。
創業より変わらぬ味を
堪能できるお店。



鉄板焼居酒屋

いろんな鉄板料理を
たくさん味わっていただけるよう
工夫をこらしたお店。

お喋り居酒屋
居心伝
鉄板料理

<https://www.marche.co.jp>

お部屋探しは レオパレス21!

家具・家電

家具・家電付だから引越しがラク。
すぐに新生活をスタート!
※物件により仕様が異なります。



セキュリティ

充実したセキュリティで、初めての
ひとり暮らしや女性の方でも安心。
※物件により設置状況、提携会社が異なります。



インターネット

面倒なプロバイダ契約をすることなく利用できます。

インターネットの基本プラン

スタンダードプラン ¥2,310 (税込)

●インターネット使い放題 (Wi-Fi 接続可) ●約8万本の作品から映画やドラマ
が見放題 ●安心設定サポート

インターネット&エンタメを楽しむなら!

プレミアムプラン ¥3,300 (税込)

●インターネット使い放題 (Wi-Fi 接続可) ●CS プラス (単品: 月額2,095 円税
込) が見放題 ●約 5 万本の作品から映画やドラマが見放題さらにレンタルチ
ケット 1 枚付き ●安心設定サポート

WOWOW&インターネットのプラン

プラチナプラン ¥4,620 (税込)

●インターネット使い放題 (Wi-Fi 接続可) ●WOWOW(単品: 月額2,530円税込)
が 3ch 見放題 ●安心設定サポート

※1 サービス内の「チケット」マークが付いた作品が対象です。※物件によりご利用いただけない場合がございます。※サー
ビス内容は予告なく変更する場合がございます。※その他、詳細はレオパレス 21 ホームページをご確認ください。

お部屋探しのお問い合わせは

株式会社 レオパレス 21

本社 / 東京都中央区本町 2-54-11
宅建業法取得業者免許 / 国土交通大臣免許 (11) 第 2846 号
賃貸住宅管理業者登録制度 / 国土交通大臣 (1) 第 4726 号



0120-921-382



営業時間 10:00 ~ 18:00

2020.7